

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成22年1月29日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0270201585		
法人名	株式会社草菴		
事業所名	草菴グループホーム		
所在地 (電話番号)	〒036-8095 青森県弘前市城東2丁目2番地6 (電話) 0172-27-7221		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年11月16日	評価確定日	平成22年1月29日

【情報提供票より】(平成21年10月31日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年 3月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	2人, 非常勤 7人, 常勤換算 7.7人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	3階建ての 2階 ~ 3階部分		

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 ~ 24,000 円	その他の経費(月額)	6,000 ~ 冬季9,000 円	
敷金	有( ) 円 (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
または1日当たり 1,400 円				

### (4) 利用者の概要(10月31日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名	
要介護1		名	要介護2	3	名	
要介護3	6	名	要介護4		名	
要介護5		名	要支援2		名	
年齢	平均	79歳	最低	72歳	最高	87歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	(財)鳴海研究所 清明会 鳴海病院、鳴海デンタルクリニック
---------	-------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

元病院を改装した建物は、1階に居宅介護支援事業所とデイサービスがあり、2・3階部分がグループホームのフロアとなっている。屋上もお茶や園芸に利用できる。食堂ホールが2階にあるので、3階の居室の入居者はエレベーターか階段を利用して移動してくるが、転落防止のため階段には柵をするようにしている。栄養士が2名おり、品数の多いメニュー作りを心がけ、また、器や盛り付けにも気を配り食事が楽しめるように工夫している。糖尿病の方にも栄養・運動を調整している。入居者の筋力保持の為、1日2回の筋力トレーニングを促し、入居者からは好評を得ている。職員は入居者を敬い、話を傾聴する姿勢があり、みんなの集まる食事時間などは和やかな雰囲気である。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前年度の自己評価での改善項目に対するの取り組みとして、市担当課と行き来する機会の確保、家族から意見を出していただける雰囲気作り、入居者の前で個人情報の会話は避ける等プライバシー確保への取り組み等を行っている。管理者、計画担当者が替わったばかりということもあり、前回外部評価での課題に対してはまだ取り組めていない。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は毎年積極的に取り組んでおり、まず全職員一人ひとりに行ってもらい、今年度は計画作成担当者が取りまとめている。職員は評価の意義を理解しており、改善点を積極的に提案している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議には市担当課、地域包括支援センター職員、町会総務部長、老人クラブ会長、家族等に参加いただいている。日常のサービス内容や、行事予定、自己及び外部評価の結果報告等を行っている。参加者より意見やアイデアをいただき、サービスに反映させている。運営推進会議の参加者からの意見を取り入れ、食前に口腔運動などを行っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	普段から意見などが出しやすいように、面会時等に声をかけて普段の暮らしぶりを伝え、話す機会を持つようにしている。また、入り口付近に意見箱を設置している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	日常から散歩の時などに挨拶をし、気軽に交流できるように努めている。緊急時の為に、交番へ写真入りで入居者を紹介したり、近所の方にも協力していただけるような体制作りをしている。町会長、民生委員、総務部長へ運営推進会議録やホーム便りを配り、ホームの取り組みを伝えている。また、町会の老人クラブと合同で、幼稚園を招いて敬老会を行っている。

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「助けあって生き生きと 助けあっていつまでも 助けあって暮らしたい」という理念を掲げているが、地域密着型サービスとしての役割を目指したものにはなっていない。		地域密着型サービスとしてグループホームが求められている役割を考え、理念へ取り込むことを期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	申し送りの時や、毎月の会議の中で理念について確認している。職員が首から掲げているネームプレートにも理念が書かれており、常に理念が共有されている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町会の老人クラブと合同で幼稚園を招いて敬老会を行っている。町会長、民生委員、町会総務部長へ運営推進会議録やホーム便りを配り、ホームの取り組みを伝えている。日常の散歩の時などには挨拶をし、普段から気軽に交流できるように努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>全職員に各自で自己評価を作成してもらい、計画作成担当者が取りまとめ、改善点を話し合っている。外部評価についても、課題について話し合い、改善に向け取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議には市担当課、地域包括支援センター職員、町会総務部長、老人クラブ会長、家族等に参加いただいている。日常のサービス内容や、行事予定、自己及び外部評価の結果報告等を行っている。参加者より意見やアイデアをいただき、サービスに反映させている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に参加していただいている他にも、ホーム便りや外部評価結果を直接持って行き、市担当課と行き来する機会を増やすように取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度の講習会に参加している職員もいるが、全職員には周知されていない。</p>		<p>必要時に職員全員が対応できることが望まれる。定期的な勉強会等を開催して、職員の理解を深めることを期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>今年度内に虐待防止への講習会を開催する予定である。虐待防止に関する取り決めがない。</p>		<p>高齢者虐待関連防止法に関する理解と遵守に向け、事業所内でのルールやマニュアル作りに取り組むことを期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には十分時間をとって、本人・家族の意向を聞きながら説明している。料金の変更時も説明を了承をいただいている。退居の際には他施設の情報提供をするようにしている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時や料金支払時に声をかけて、普段の暮らしぶりを伝えている。その他にも電話にて受診報告や状態の報告をしている。毎月ホーム便りとお納帳のコピーを送っている。職員の異動についても便りや面会時を利用して報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>普段から意見などが出しやすいように面会時等に声をかけて話す機会をもつようにしている。また、入り口付近に意見箱を設置している。</p>		<p>外部にも相談窓口があることを繰り返し説明し、安心して意見を表せる機会を積極的につくることが求められる。</p>
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>馴染みの関係作りの重要性を理解しており、極力異動は無いようにしている。新しい職員には個人ファイルを見てもらい、その入居者をよく理解していただいてから接してもらっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の研修内容を職員会議で報告して内容を共有している。しかし、時間的・人力的に研修機会をなかなか確保できないでいる。		限られた職員体制の中で研修機会を確保するためにも、年間の研修計画を立てて、全ての職員が段階的に力をつけていけるような工夫が求められる。
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所とは電話などで情報交換している。今後は相互訪問などでの交流を構想している。		他事業所との交流を構想中とのことなので、早期の実現を期待したい。
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	同建物内のデイサービスを利用しており、すでに馴染みの関係になっている方の利用が多い。入居前に訪問したり、ホームに来ていただくなどして、徐々に馴染みの関係ができるようにしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	すべての入居者に何かできる作業を行っていただくことで、支えあって生活する関係をつくっている。職員は入居者を人生の先輩として、話を傾聴して学ぶ姿勢をもっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式のアセスメントシートを利用して、本人の生活歴や趣味、意向などを把握している。普段から本人や家族から丁寧に話を伺い、情報をシートにまとめるようにしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・家族の意向や職員会議での全職員での話し合いの内容、日頃からの職員の気づきが計画に反映されるようにして作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に1回、または状態が変化した場合には、その都度計画を見直すようにしている。本人、家族から意向を伺い、計画に反映している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	なじみの美容院や商店への外出支援をしている。家族の都合に合わせて病院受診の付き添い、入院した時には早期退院へ向けて病院へ情報提供するなどしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	それまで受診されてきた、かかりつけ医に引き続き診てもらえるよう支援している。家族に受診の付き添いをお願いしているが、都合がつかない場合等はホームで対応して、受診後の報告をするようにしている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に重度化した場合の説明をして、方針を共有するようにしている。重度化した場合の対応は行わない方針であるが、提携施設を紹介するなどしている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	相手を尊重した言葉がけを心がけており、トイレ誘導も耳元で声をかけるなどプライバシーに配慮している。ファイルなどの個人情報についても第三者の目に付かないようにし、人前でも入居者の話をしないように気をつけている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの一日の流れはあるが、居室で過ごしたい方、レクに参加したくない方など本人の希望やペースにまかせるようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>朝・夕は入居者と一緒に食事をとりながら見守っている。入居者には盛り付けや片づけを状態に合わせていただいている。好き嫌いを把握し、盛り付けや器も美しく、見た目も味も楽しく食事ができるよう工夫している。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週3回を目安にしているが、その方の希望を聞いて対応している。時間の希望も聞いて、午前・午後どちらでも入浴できる。入浴拒否のある方にも声がけを工夫したり、足浴だけでもしてもらうようにしている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>全ての入居者に何かしらの役割をもっていただくようにしている。裁縫や食事の盛り付け、男性入居者にも力仕事や雪かき等をしていただいている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>買い物には月2回程、順番に行くようにして、自分の好きな食べ物等を買っていただいている。その他にもドライブや外食にも出かけている。春夏には毎日建物近辺を散歩するようにしている。その方の希望に合わせて美容院やお店、移動図書館などへの外出支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>やむを得ない場合でなければ行わない方針であることを職員は理解しており、拘束は行われていない。</p>		<p>さらなる身体拘束防止へ向けて、定期的な勉強会の開催やマニュアル作りを行い、自覚しない身体拘束がされていないか等を確認することを期待したい。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>交通量の多い道路に面していることもあり、家族の了承をもらい玄関には施錠している。入居者に外出傾向があるときは一緒に付き添って散歩するようにしている。万が一屋外へ外出してしまった場合に備え連絡網を作り、近所の方にも連絡して協力してもらえ体制をつくっている。交番には写真で入居者を紹介している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>避難訓練は年2回、昼・夜を想定して全員参加で行っている。消火設備の点検も行っている。</p>		<p>災害時に近隣の方の協力が得られるように、訓練にも一緒に参加していただくよう呼びかけが望まれる。また、火災だけでなく、地震を想定しての訓練も試みることを期待したい。災害に備え、食料や飲用水等の物品の用意も重要である。</p>
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎日1100ccを目安に水分を摂っていただいているが、便秘などの場合は多めに摂って頂く等状態に合わせている。食後には好みに合わせてお茶や牛乳、ジュースを飲んでいただいている。食事量もチェックしており、状態に応じておかゆやゼリーを提供している。栄養士が2名おり、栄養バランスに配慮して献立を作成している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>日頃からのマスク着用、うがい・手洗いを励行している。感染症のマニュアルをつくり、最近では新型インフルエンザについて家族へも情報提供して感染予防に努めており、外着を持ち込まないなど徹底した対策をとっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
34	78	居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂のテーブルには季節の花が飾られ、窓際にも観葉植物が置かれている。テーブル席の他、畳の小上がりやソファがあり、廊下にも長椅子が置かれ思い思いの場所で過ごすことができる。		
35	80	居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの箆笥や写真・テレビなどを持ち込んでいただき、過ごしやすい空間となるよう工夫している。適度な湿度を保てるように加湿器や洗濯物を利用している。		

 は、重点項目。